

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 5 月 31 日

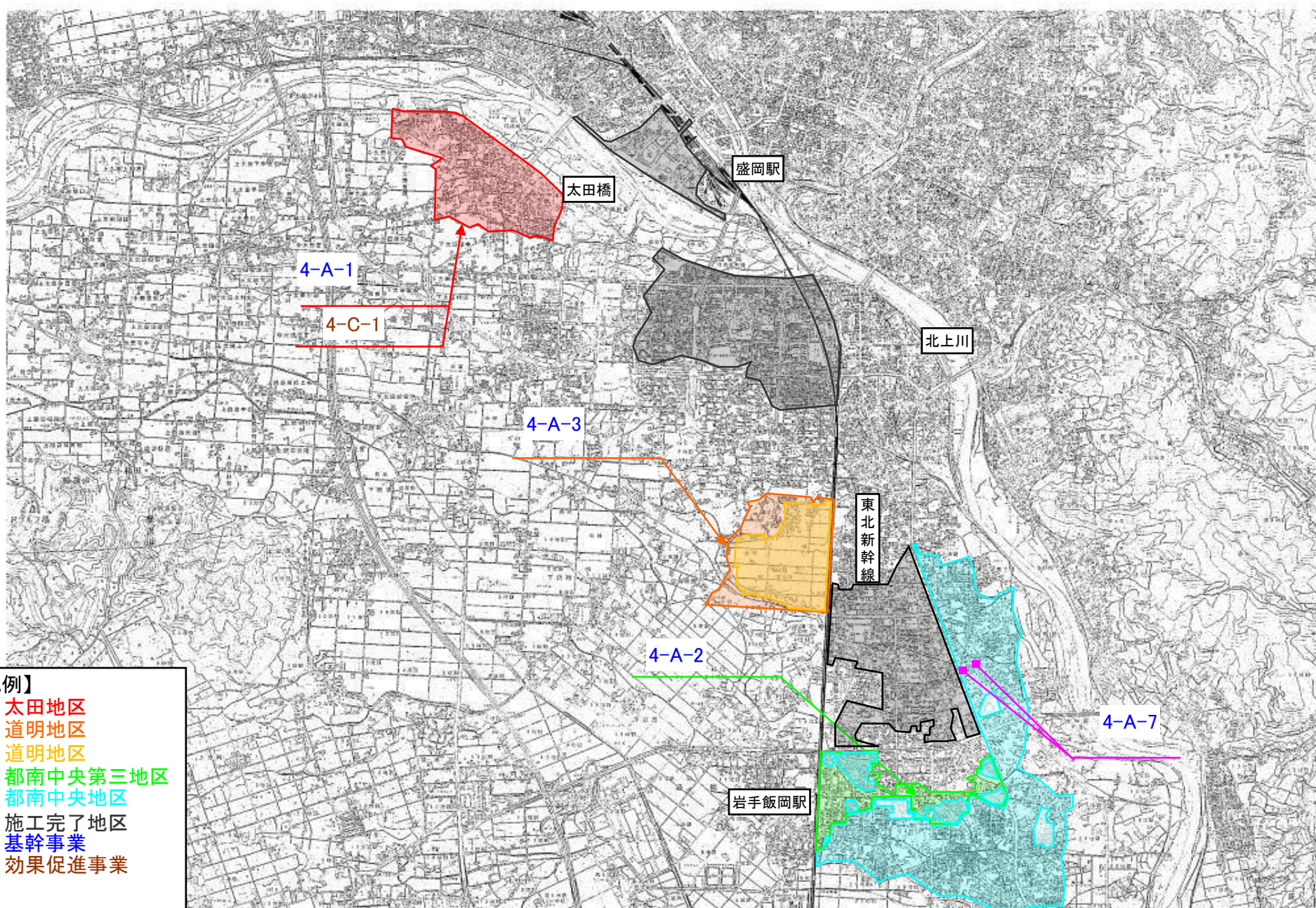
計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	盛岡市										
計画の目標																	
I にぎわいのある市街地の形成 ・地域内への人口定着を図るため、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備し、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・区域内における、計画人口に対する定着人口率。 ・区域内の、建築物戸数。																	
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考						
								当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	上段：() 従前エリアの値 下段：変更後エリアの値						
① 区域内人口 Σ 区域内人口 / Σ 区域内計画人口 × 100 (%)								(65. 85) 65. 80	(65. 85) 65. 83	(65. 95) 65. 94							
② 区域内建築物戸数 建築物戸数 (戸)								(5, 345) 4, 638	(5, 348) 4, 644	(5, 362) 4, 658							
上段：計画 下段：実施																	
全体事業費	合計 (A + B + C)	6, 199百万円 6, 197百万円	A	6, 097百万円 6, 095百万円	B	0百万円 0百万円	C	102百万円 102百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	1. 6% 1. 6%							
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期			平成28年 5 月									
課内組織にて事後評価を実施					公表の方法			ホームページにて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業（道路事業）				上段：計画 下段：実施													
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
4-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	－	区画	改築	太田地区 ((都) 下太田屋敷田線外)	区画整理77. 2ha 区画整理12. 8ha	盛岡市						3, 991 3, 991	H34
4-A-2	街路	一般	盛岡市	直接	－	区画	改築	都南中央第三地区 ((都) 岩手飯岡駅三本柳線外)	区画整理44. 0ha 区画整理5. 4ha	盛岡市						1, 043 1, 042	
4-A-3	街路	一般	盛岡市	直接	－	区画	改築	道明地区 ((都) 津志田下飯岡線外)	区画整理70. 6ha 区画整理6. 2ha	盛岡市						995 994	H34
4-A-7	道路	一般	盛岡市	直接	－	市町村道	改築	(他) 市道三上川原 2 号線外	道路改築 L = 0. 2km 道路改築 L = 0. 1km	盛岡市						68 68	H34
															合計	6, 097 6, 095	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
															合計		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業				上段：計画												下段：実施	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
4-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接	－	改築	太田地区（建物補償・造成）	建物補償・造成整備面積10.7ha 建物補償・造成整備面積2.6ha	盛岡市						102 102	H34	
合計															102 102		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
4-C-1	区画道路築造（4-A-1）と一体で建物補償及び宅地造成を行うことにより，良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		地区内道路の整備改善と良好な宅地の整備を実施したことにより、平成26年度末時点で「地区内の計画人口に対する定着人口率」が67.96%(当初現況値+2.16%)、「建築物戸数」が4,877戸（当初現況値+239戸）となり、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりが推進された。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（地区内人口）	最終目標値	65.94%	目標値と実績値 に差が出た要因	
			住基		
	最終実績値	67.96%			
		住基			
	指標②（区域内建築物戸数）	最終目標値	4,658戸	目標値と実績値 に差が出た要因	
			住宅地図建築物集計		
		最終実績値	4,877戸		
			住宅地図建築物集計		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 引続き各事業を推進し、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備することによりにぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。					

(参考様式3) (参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	盛岡市



【凡例】

- 太田地区
- 道明地区
- 道明地区
- 都南中央第三地区
- 都南中央地区
- 施工完了地区
- A 基幹事業
- C 効果促進事業